

第 3 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 656-0046
住 所 兵庫県神戸市中央区港島中町四丁目 1 番 1
氏 名 株式会社ダイエー
代表取締役 村井 正平 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 1 0 条第 1 項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社ダイエー		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎区白石町 6 番 1 号		
該当する事業者 の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の種類	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	56	各種商品小売業
主たる事業 の内容	セルフサービスを主体とする商品の小売業		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		4,806 k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	関東事業本部 総務人事部 営繕課
		所在地	東京都板橋区成増 2 - 2 1 - 2
	電話番号		03-6891-3715
	F A X 番号		03-6891-3801
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 7,799 (調) 6,358 t-CO ₂	(実) 7,428 (調) 6,050 t-CO ₂	(実) 6,874 (調) 5,580 t-CO ₂	(実) 6,642 (調) 5,453 t-CO ₂	(実) 7,565 (調) 6,358 t-CO ₂
削減率		(実) 4.8 (調) 4.8 %	(実) 11.9 (調) 12.2 %	(実) 14.8 (調) 14.2 %	(実) 3.0 (調) 3.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	1. 川崎プロセスセンターにおいて、食品加工業者のレイアウト変更を実施し照明、冷蔵庫等の効率的運用を図ったことにより大きく削減出来た。 2. フーディাম武蔵小杉店、ダイエー向ヶ丘店においては22年度の省エネ機器導入は実施出来なかったが、照明の間引き、空調の効率運転、冷凍機の温度設定の見直しなどにより、両店舗とも温室効果ガスの削減が図れた。
第2年度	・震災による節電要請を受け、社内での節電の取組みを決定、実施（目標：関東前年比20%削減） 店舗売場基本照明3分の1消灯（店舗毎に消灯箇所を決定）、スポットライトの間引き 外周看板等の消灯、消灯、間引き効果による店内温度の上昇抑制⇒空調の削減 ・高効率反射板付き照明、水引、スクリーン照明のLED化、LEDスポットライト、冷ケースライト設置、更新 上記施策の実施により温室効果ガスは第1年度以上の削減を図れた
第3年度	【店舗】昨年の節電の取組みを継続（但し、照明において照度不足等の場所は再点灯実施） 【川崎プロセスセンター】昨年に引き続き、共用部照明間引き・空調の効率運転等による節電、食品加工業テナントの設備入替による電気使用減により削減 【省エネ機器導入】LEDスポットライトの導入拡大 上記施策の実施により、目標排出量を達成することができた

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	1. 主要設備等の保安全管理 (1) 主要設備の管理標準作成 (2) 主要設備ごとのエネルギー使用量の把握と省エネ化 2. 照明設備の省エネタイプへの変更 (1) 蛍光灯をHfタイプへ変更 (2) 省エネ型Wエコ1灯用器具への変更 (3) LED蛍光器具への変更 (4) 誘導灯をLED器具へ変更 3. 熱源周りの更新 (1) ボイラー排ガス温度有効利用の検討 (2) 冷却水・冷温水ポンプの回転数制御装置等の採用
	第1年度	1. 主要機器の管理標準を作成した。 2. 設備単位のエネルギー消費量一覧表を作成した。 3. 施設内の共用部の一部の照明をHf蛍光灯に更新した 4. 共用部空調温度設定調整及び 照明間引きを実施した。 設定温度25度→28度 照明間引き2本→1本に変更
	第2年度	1. 高効率反射板付き照明器具(反射板を利用し照度を維持させ蛍光灯を1灯化)の導入 2. LEDスポットライト:ハロゲン球⇒LEDに変更 3. 水引、スクエア照明のLED化 4. 冷ケースナイトカバー設置、更新:閉店後冷ケースへ取り付け冷気漏れを防止
	第3年度	【店舗】1. LEDスポットライトの導入拡大(継続取組み) 2. 前年よりの節電の取組みの継続(照明照度不足発生箇所は復灯) 【川崎プロセッサー】共用部照明間引き実施、空調温度調整28℃ 構内照明LED化の検討、 冷却水ポンプ回転数制御試験導入実施 【計画に対する総括】 1. 主要設備の保安全管理は一旦完了しているが、今後も見直しを実施する 2. 照明の省エネ化は一旦完了、今後はLED導入を検討する 3. 熱源周りの更新は採算面より中止している
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

なし

[illegible][illegible]

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	1. 店舗廃棄物の管理 店舗にて発生する廃棄物の減量化、分別化、リサイクル化の推進を行う 2. 紙の排出量の削減 OA用紙・コピー用紙を2011年度までに2007年度比 店舗40%事務所50%削減する 3. 水使用量の削減 水使用量を2011年度までに2009年度比15%削減する
第1年度	1. 店舗廃棄物の管理 食品リサイクルは2010年度法定目標27.7%に対し29.1%と達成し、11年度は31%を目指し店舗数を拡大する。
第2年度	1. 食品リサイクルの推進：2011年度食品リサイクル率31.3%（2012年度目標33.0%） 2. 紙排出量の削減：2011年 07年比 店舗40.8%、事務所53.5%削減 3. 水使用量の削減：2011年 09年比15.6%削減
第3年度	1. 食品リサイクルの推進：食品リサイクル率 35.0% 2. OA用紙使用量削減：2010年度比 3.9%（店舗）、17.0%（事務所）削減 3. 水使用量の削減：2010年比 15.3%削減 4. 環境配慮型商品の販売：2011年度比 105.0% 5. レジ袋削減活動の推進：レジ袋辞退率 38.0%

様式第 2 号

(第6面)

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	7,278	t-CO ₂
(調)	7,264	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
ダイエー川崎プロセスセンター	川崎区白石町6番1号	6900	不動産賃貸業	4,555 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
f o o d i u m武蔵小杉店	中原区新丸子東3-1100-14	5811	各種食料品小売業	968 t-CO ₂
ダイエー向ヶ丘店	多摩区登戸2789	5611	百貨店・総合スーパー	1,755 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--